

こども園経営方針（中期経営目標）		前年度の成果と課題	本年度こども園経営の重点（短期経営目標）	
<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中で、自ら主体的に関わり、心を動かすことで豊かな園児を育む。 友達や地域の人との触れ合いの中で、自分の思いを表現し、自己決定しながら「社会を生き抜く力」を育成する。 地域に愛され、保護者に信頼される園づくりを進める。 職員同士が互いに学び合える組織づくりを進める。 		<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の園児の姿や言葉から興味や関心を読み取り、環境を整えることで遊びに広がりが見られ、繰り返し遊んだり試したりすることが多くなり、自分のやりたい遊びを十分楽しむことができた。 ○異年齢児との関わりを通して、優しさ、思いやり、憧れの気持ちなど、心の育ちが見られた。 △保護者への情報発信を積極的に行い、園児の様子から成長を共に喜び合うことができたが、保護者同士をつなげる機会がもてなかった。 ○職員同士が園児の姿や活動について語り合ったり相談したりする姿が多く見られるようになった。また、全職員で共有できるように可視化する工夫もできた。 	<p>『いっぱい遊んで つながって みんな大好き たんごの輪』 ～一人一人が輝き、育ち合えるこども園をめざして～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に人やものに関わったり触れ合ったりしながら遊び、豊かな表現力を育てる。 ・友達と力を合わせたり異年齢児との関わりを楽しんだりしながら、集団の中で育ち合える環境をつくる。 ・職員の連帯・協働意識の高揚を図り、「チーム」で取り組む体制をつくる。 	
評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題（自己評価）	学校関係者評価
保幼小中一貫教育の推進 (保幼小接続)	<ul style="list-style-type: none"> 「丹後学園」間の連携 ・幼児期の遊びや生活の中にある学びを共通理解する。 ・児童期の育ちを見通した教育課程を編成する。 ・園所の交流を通して、つながり合う楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との交流を通して、幼児と児童の実態を知り、子どもの育ちへの理解を深める。 ・研修会や連絡会等を通して、幼児教育と小学校教育について互いに理解を深め合い、発達を捉えた環境構成や教材研究を進める。 ・就学へ向けての滑らかな接続のため、丹後学園ならではの「かがや木」の検討、「架け橋カリキュラム」の作成などを行い、実践につなげていく。 ・クッキングや行事など宇川保育所の友達と一緒に過ごす機会を多くもち、自分の住んでいる地域について話したり、散歩するなどの経験をしたりすることで、相手を思いながら、共に育ち合えることを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公開保育や授業研究会などの機会を捉えて、互いの教育保育について理解が進んだ。 △幼児と児童の交流前に校種間の連携を十分とれていなかった。 △「架け橋カリキュラム」作成へ向けて研究を進めながら、校種間で保育実践や学習の中でのねらいを理解し合うことが十分にできなかった。 ○宇川保育所との交流では、学園の目指す子ども像をねらいの土台にして、環境構成や個々の園児への配慮、振り返りから次への工夫等を行うことで、交流の楽しさを感じ、深めることができた。 ○宇川での遊びを宇川保育所の友達と一緒に楽しんだり地域の人と触れ合いながら活動したりすることで、人とのつながりを楽しむことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学園の授業研究会や公開保育などの機会を捉え、保幼小中の職員間の学び合いができていくことをうれしく思う。継続して深めていってほしい。

<p>教育課程</p>	<p>教育・保育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら生活や遊びに向かい、自信をもった園児を育てる。 ・心身共に健康な園児を育成する。 ・自他共に大切に思える園児を育成する。 ・保育研究を継続的に実施し、指導改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が自ら興味をもったものや人、自然などに関わる中で、一人一人の個性や発達に即した多様な経験を重ね、自己発揮しながら自信をもって行動できるように環境を整える。 ・園児の興味や関心を引き出し、友達と関わりながら遊びを展開し続けられるような環境や援助を工夫する。 ・個々の姿に合わせた援助を行い、自分でできることを広げながら、基本的な生活習慣や態度を身に付ける。 ・体を動かす気持ちよさを感じたり、繰り返し挑戦することの充実感を味わったりするための環境を整え、友達と一緒に心を揺さぶる経験をする。 ・生活や遊びの中で、自分の思いや考えを相手に伝えることや、相手の思いを知り受け止めるなどの体験を通して、互いを認め合い大切にする心を育てる。 ・様々な年齢や立場の人と交流する中で、ドキドキワクワクするような感情体験を味わうことができるようにする。 ・園児一人一人に応じた関わりを行うため、職員同士が園児の発達課題を共有し、援助や環境の工夫について話し合う機会をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○園児一人ひとりの興味や関心を見取り、自分でやってみようと思えるような環境を整えることが園児の意欲につながっていた。また、思いや考えを自分なりの方法で表現し、経験を繰り返すことで自信につながった。 ○生活習慣の自立やその場に応じた態度を身に付けるため、個々の発達状況に応じた援助や助言をすることで、自分で気付いて行動できるようになった。 ○体を動かすことの気持ちよさや楽しさを感じられるように繰り返し機会をつくり、自分の目標を立て取り組む姿が見られた。様々な感情体験をしたり友達や保育教諭等に認められたりしたことが、次への意欲につながった。 ○異年齢児への興味や関心が高く、自然な関わりが多いため、相手の思いに寄り添おうとする姿や年上の友達への憧れの気持ちから遊びが広がった。 ○月反省や日々の終礼等で、クラスの園児の姿や次にねらいたいことを細かく伝え合い、職員同士が共有することで異年齢交流につながった。 △初任者研修、中堅研修、新規採用者研修などの学びの機会は多かったが、職員間で共有しきれていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○散歩など園外での活動の機会を増やし、地域の人と触れ合ってほしい。 ○職員間の連携がとれていて雰囲気もよく、チーム力の高まりを感じる。
-------------	--	---	---	--

<p>子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携を密に行い、それぞれの家庭に合わせた支援を行う。 保護者同士がつながり合い、安心できる機会をつくる。 支援を要する園児に対しての支援策について園全体で考え、保護者と共有しながら進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の子どもの育ちや乳幼児期の教育・保育への理解を深める機会をつくり、園児の健やかな成長を支援する。 個人情報に十分留意しながら、園だよりやクラスだより、アプリでの動画・写真配信などをこまめに行い、園での様子を伝えることで、保護者との共通理解を進める。 親子行事や懇談会など保護者同士が関わり合える機会を大切にしてい、つながり合えるようにする。 懇談会等で発達状況を伝えたり家庭の様子を聞いたりしながら、園児の課題や今後の方向性について保護者と共通理解し、医療や療育など関係機関と連携し、一人一人に合わせた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の子どもの育ちについて保護者とともに考え合えるよう、機会を捉えて個人懇談を行うことで理解が深まった。 保育の中で大切にしていることを保護者に理解してもらうため、ドキュメンテーション配信をしてから保育参観を行うなどの工夫を行なった。 園での様子を写真や動画で保護者へ配信し、家庭での会話につなげることができた。 親子行事やクラス懇談会等により、保護者同士のつながりが深まっている。 △支援を要する園児と保護者の思いに寄り添いながら対応したが、個々の子どもの育ちのために就学先を選ぶ際、相互理解が得られなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の方からの相談などは少ないが、園と情報共有できるように連携の機会を多くもっていただきたい。
<p>(A) 家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人や自然と関わり、人とつながる心地よさを感じるとともに、故郷を愛する気持ちを育む。 丹後町ならではの遺産物に関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人や自然と触れ合う機会をつくり、海、川、山、田畑などに興味や関心を持ち、疑問に思ったことを尋ねたり、教わったり、調べたりなどして、地域の人や自然の素晴らしさを知る。 神明山古墳を見たり地域の方に教わったりする中で、丹後学に興味や関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○神社や古墳について地域の人に話を聞き、伝統ある遺産物に興味をもつことが、遊びや行事へつながった。 ○老人ホームのお年寄りと触れ合う機会を数回もったことで、人の温かさや思いやりの気持ちを感じることができた。 △地域の自然物等に興味や関心はもてたが、疑問を調べるなどの探究心にはつながらなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○丹後地域への興味や関心を高めるために工夫している。今後も続けてほしい。
<p>次年度に向けた改善の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 丹後学園で育てたい子どもの姿を理解し合いながら、幼児・児童・生徒同士の交流の仕方を工夫する。 生きていく力を育てるために生活や遊びの中で大切にしていることを、保護者や地域の方に理解してもらえるように、便りやドキュメンテーション配信、ホームページ、保育参観などでこまめに発信する。 地域の人との関わりを通して丹後町の自然や遺産物への興味や関心を高め、不思議さや面白さを感じたり疑問を調べたりなどの探究心につなげる。 			